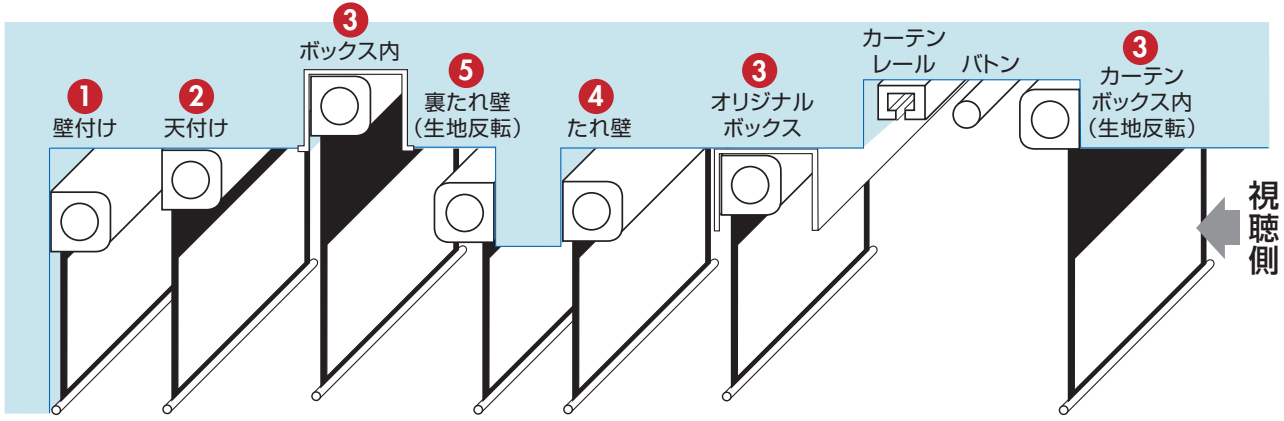


スクリーンの取付方法

スクリーンの取付には、大きく分けて次の5つの場合があります。①壁面、②天井、③ボックス内、④たれ壁、⑤裏たれ壁
また、それぞれ取付面の状況により、さまざまな工夫が必要です。いずれにしろ取付に際には十分な強度を確保する必要があります。

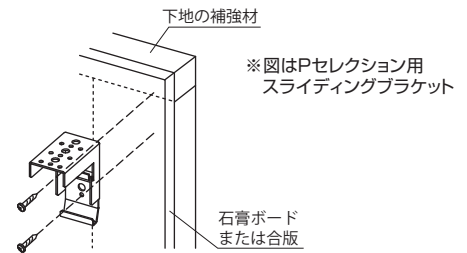
取付イメージ図



手動スクリーンは特にハンドルを引く時に、瞬間的な強い力が加わることがあります。取り付け場所の強度には特にご注意ください。

①壁付け

- 壁面に十分な補強材が入っている場合は、直付けします。
- 壁面のLGSまたはパーティション見切り、間柱などに合わせ、スライディングブラケットを固定し、その上にスクリーンを取り付けます。(P/T/Bセレクション)
サイドブラケットの場合は、アルミ天板 (A-T) を、まずLGSまたは、パーティション見切り、間柱に固定してから、スクリーンを取り付けます。
- コンクリート壁の場合は、壁面にアンカーを打ち、全ネジボルトにスクリーンを直接取り付けます。



②天付け

- 天井面に十分な補強材が入っている場合は、直付けします。
- 野縁 (のぶち) 材などにスライディングブラケットを固定し、スクリーンを取り付けます。
サイドブラケットの場合は、野縁材などにまずアルミ天板 (A-T) を固定してから、スクリーンを取り付けます。
- 天井に強度が無い場合には、スラブにアンカーを打ち、全ネジボルトを使用し、スクリーンを直接取り付けます。
- ECなどの大型スクリーンは、ぶどう棚に設置をします。

